

留 学 報 告 書

記入日:2014年7月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學
留学期間	2013年8月～2014年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	政治学科
帰国年月日	2014年7月14日
明治大学卒業予定年	2017年4月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8 月上旬～1 月下旬 2 学期: 2 月～7 月下旬
学生数	学部 17,706 人・大学院 15,710 人
創立年	1928 年

留学費用項目	現地通貨 (台湾ドル)	円	備考
授業料		円	交換留学のため授業料なし
宿舍費	26,000	88,759 円	
食費	80,000	273,105 円	
図書費	6,000	20,482 円	
学用品費	3,000	10,241 円	
教養娯楽費	20,000	68,276 円	
被服費	なし	円	
医療費	なし	円	
保険費	34,558	118,560 円	形態: 明治大学保険
渡航旅費	13,000	44,379 円	
雑費	10,000	34,138 円	
合計	179,558	657,940 円	

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類

往路 18,000 円

復路 20,000 円

合計 38,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エアアジア

<http://www.airasia.com/tw/zh/home.page>

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

住居は国立台湾大学の寮を強くお勧めします。

キャンパス内に位置し、とても快適な環境で生活することができるためです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

OIA という国際事務所で相談をすることができます。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

現地の危険地域情報は、学校からのメールで確認することができます。台湾は日本並みにとても安全な国で、実際犯罪に巻き込まれたことは一度もなかったです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続は日本の寮よりは遅かったですが、我慢できる程度です。携帯電話は日本の携帯電話に台湾の SIMCARD を挿入して使いました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

台湾では銀行口座を開設しなかったです。国際現金カードを日本で申請し、親からの送金をそのカードでおろし、生活しました。また、手数料が安いので、国際クレジットカードも併用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になくと思います。日本の薬も購入することができます。

進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定
 その他：2014年9月から米軍基地で服役を行うため、2014年秋学期から休学する予定です。

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

私は明治大学でも留学生であったので、政治経済学部の方々が相談に乗ってくれました。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

私の様に留学生がまた他の国に留学するケースは極稀だと思います。申請の手続きやビザ問題で落ち込んだ時もありましたが、今回の台湾大学での留学は私にとってとても貴重な経験でした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
進階英文文法		上級英文法
科目設置学部・研究科	外国語学部	
履修期間	2013.9~2014.1	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に50分が2回	
担当教授	彭 泰迪	
授業内容	-英語会話及び文法力を高める。 -批判的な思考、問題解決能力を高める。	
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。中間テストの代わりに、英語のプレゼンテーションをすることも可能です。	
感想を自由記入	英語で行われる授業です。最初は英語が苦手でなかなか授業についていけなかったのですが、時間が経つにつれて英語が上手くなり、授業中英語で議論することも可能になりました。また、この授業を履修した後、英語の文書力が強くなりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
国際公法		国際法
科目設置学部・研究科	政治学部	
履修期間	2013.1~2014.1	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回	
担当教授	蔡 季廷	
授業内容	-国際法の役割及び機能を勉強する。 -国際法の限界を実際の判例から考える。 -国際的視野・国際的感覚を高める。	
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。課題はなかったです。	
感想を自由記入	中国語で行われる授業です。中国語で国際法という法律を勉強するため、授業を聞き取れる中国語能力が必要とされます。実際、授業の内容は法律なので結構難しかったのですが、先生やチューターさんの助けで合格することができました。国際法は国際政治学を勉強する際、基礎となる法律なので、ぜひ履修した方がいいと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際関係史一		国際関係史	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	2013.9～2014.1		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授	陳 世民		
授業内容	-ヨーロッパを中心とする国際関係史を勉強する。 -批判的歴史観を学習。		
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。課題はなかったです。		
感想を自由記入	明治大学での歴史学の授業とほぼ同じ形式でしたが、たまにグループで議論をしたり、発表をする機会がありました。政治学科の国際政治系科目と関連しているため、履修することを強くお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
大衆傳播政治		メディアと世論	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	2013.9～2014.1		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授	湯 晏甄		
授業内容	-メディアと世論との間の影響を考える。 -現代の大衆民主主義におけるメディアの機能について考える。		
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。期末テストには試験とプレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	主にメディアの役割について勉強し、グループを作って発表する授業でした。大人数で行われた授業だったので、あまり集中できなかった時もありましたが、メディアに関する様々な意見を共有することができて、とてもよかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
美國政治		アメリカ政治論	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	2013.9～2014.1		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	嚴 震生		
授業内容	-アメリカ政治に関する基本的な知識を勉強する。 -現代アメリカ政治の見方、考え方をオバマの本から勉強する。		
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。課題はアメリカの州についてレポートを書くことでした。		
感想を自由記入	この授業では、アメリカ政治に関する基本的な知識を勉強しました。英文の原書で行われたため、最初は結構難しかったですが、アメリカ政治に関する全般的な思想や知識を勉強することができてとてもよかったです。また、様々な国から来た留学生と一緒に勉強することができて、英会話も上手くなりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
広告学	広告学
科目設置学部・研究科	生命テクノロジー学部
履修期間	2013.9~2014.1
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 50 分が3回
担当教授	周 穆謙
授業内容	<p>ー広告に関する基礎知識を学習する。</p> <p>ー実際自分で広告を作ってみる。</p>
試験・課題など	中間テストはなかったです。期末テストの際、グループごとに作った広告で評価されました。
感想を自由記入	グループを作って議論したり、広告を企画する授業です。この授業を通じて、広告に関する知識を学習したことはもちろん、テレビで流れている広告を分析することも可能になりました。他の授業とは違って、自分が授業に参加する形だったので、良い経験になったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
比較政府二	比較政府論
科目設置学部・研究科	政治学部
履修期間	2014.2~2014.7
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	左 正東
授業内容	<p>ーフランス、ロシア、ドイツ、インドの政府を比較し、研究する。</p> <p>ー実例からフランス、ロシア、ドイツ、インド政府の特徴を考える。</p>
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。課題はなかったです。
感想を自由記入	この授業では主にフランス、ロシア、ドイツ、インド4カ国の政府に関する知識や政府の機能について勉強しました。正直私にとってはとても難しかったです。特にフランス、ロシア、ドイツ、インド政府について勉強したことがなかったため、理解できない部分が多かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国際政治理論二	国際政治学
科目設置学部・研究科	政治学部
履修期間	2014.2~2014.7
単位数	2
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回
担当教授	張 登及
授業内容	<p>ー国際政治学の現実主義と自由主義を研究する。</p> <p>ー国際政治学説を実例から証明する。</p>
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。中間テストの直前、政治学説について書くレポートがありました。
感想を自由記入	4年生の授業だったため、少人数で行われました。既存の国際政治理論だけではなく、今現在に起きている事件から国際政治論を考える方法を勉強しました。また、既存の国際政治理論を絶対に成立する学説として受け入れず、既存の学説を批判し、その解決策をさぐる方法も勉強しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
咖啡學		コーヒー学	
科目設置学部・研究科	農学部		
履修期間	2014.2~2014.7		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	王 裕文		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> -コーヒーの栽培地を研究する。 -実際コーヒーを作ってみる。 		
試験・課題など	筆記試験は存在しなかったです。コーヒーを作ることで期末テストが評価されました。		
感想を自由記入	前からコーヒーをよく飲んでいたので、政治学とはあまり関係ない科目にも関わらず、履修することにしました。グループでコーヒーの原産地を研究したり、時には実際自分でコーヒーを作る機会もありました。また、コーヒー学は明治大学ではとれない授業だったため、特別な経験だったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
非洲政治		アフリカ政治論	
科目設置学部・研究科	政治学部		
履修期間	2014.2~2014.7		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	巖 震生		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> -アフリカ政治に関する基本的な知識を勉強する。 -現代アフリカ政治の見方、考え方を勉強する。 -アフリカの政治文化を実例から考える。 		
試験・課題など	試験は中間テストと期末テスト2回でした。課題はアフリカの国についてレポートを書くことでした。		
感想を自由記入	この授業はすべて英語で行われるため、英語が苦手な方には少し難しいかもしれませんが、教科書だけではなく、実際アフリカの映画やアフリカ人のインタビュー内容から、アフリカの独特な政治文化を研究しました。また、今アフリカが直面している問題を考え、その解決策をクラスの人と議論する時間もありました。アフリカ政治に興味を持っている方は、是非この授業を履修した方がいいと思います。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	中国語圏留学のため、休みの期間を利用し、ネット中国語講座をとりました。
4月～7月	4月から本格的に中国語勉強に力を入れました。 学校では中国語中級講座をとりました。
8月～9月	11月にある出願のため、中国語の作文練習を毎日行いました。 放課後は出願時に必要な書類を準備しました。
10月～12月	11月、無事に書類を揃えて出願しました。 12月には面接を行いました。
2013年 1月～3月	1月中旬、交換留学合格通知をもらいました。 1月末、国立台湾大学への出願をオンラインで行いました。
4月～7月	6月、国立台湾大学から入学通知をもらいました。 それにあわせて、宿舍手配、ビザ申請、航空券手配等、渡航する時に必要な準備をしました。
8月～9月	8月20日に台湾に着きました。 8月の月末には外国人登録を区役所で行いました。 9月の初旬から学生寮に住み始めました。 9月から学校が始まるため、オリエンテーションや学校の様々な活動に参加しました。
10月～12月	11月は中間テストがありました。日本の大学とは違って、1学期に2回試験を受けなければなりません。 12月には学園祭がありました。
2014年 1月～3月	1月には期末テストがありました。 1月の月末から冬休みが始まりました。 2月中旬には冬休みを利用し、台湾各地を旅行しました。 2月末に第2学期が始まりました。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は昔から、東アジアの国際関係に興味がありました。また、日本以外に中国語圏にも興味を持っていたので、中国語圏に留学しようと思いました。特に日本では研究することが難しい、中国と台湾の関係や台湾の東アジア関係を勉強するために、台湾での留学を計画しました。もちろん、日本でも東アジア関係を勉強することはできますが、それは日本の立場から研究した東アジア関係であるため、客観性が弱いと思いました。就職活動に影響を与える危険性を承知しながらも海外留学を決めた理由は、日本では勉強できない東アジアの関係を学習したいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	台湾に留学するにあたって、一番大切なことはやはり中国語の学習です。そのため私は、1年生から学校で中国語講座を取りました。実際留学中、中国語はレポートを書く時や議論をする時広く使われるため、中国語の勉強はとても必要だと思います。また、中国語の勉強以外にも、台湾の歴史や文化を学習しておきました。
この留学先を選んだ理由	私が中国本土ではなく台湾を選んだのは、生活面や環境面ではなく、研究活動面での理由です。中国では台湾を中国の一部として認識しているため、台湾と中国の関係を研究することが難しい反面、台湾では自由に台湾の国際関係や台湾と中国の関係を勉強する環境が整っています。また、国立台湾大学は台湾で最高の大学であり、国際政治学に著名な教授陣や優れた学生と一緒に勉強できる環境に惹かれ、台湾を留学先に選びました。
大学・学生の雰囲気	国立台湾大学はとても自由な環境で勉強ができる所です。大学は台湾の全土の1%を占めるぐらい大きく、中にはスーパーや雑貨屋さんなど様々な便利な施設があります。学生はとても学習意欲が高く、試験がない時にも図書館で一生懸命勉強している姿を見ることができます。また、学園祭は明大祭のようにとても賑やかで楽しかったです。
寮の雰囲気	寮はとても賑やかで、国際的です。特に私が住んでいる学生寮は様々な国から来た留学生がいて、まるで小さな国連会議を想像させます。また寮はとてもきれいで、ジムやラウンジなどの施設も設置されています。
交友関係	最初は言葉の問題でなかなか友達を作れなかったです。時間が経つと中国語がうまくなり、台湾人の親友を作ることができました。また、中国語ができない欧米圏から来た留学生には、英語を使って自分から話しかけたりしました。私は言語交換サークルに所属し、台湾人の友達に日本語と韓国語を教えながら楽しい学園生活を送りました。
困ったこと、大変だったこと	特に困ったことはなかったです。台湾は日本並みに治安がいい国で、お金を盗まれたり、犯罪に遭ったりすることは一度もなかったです。また、大学の中に外国人専用の相談口が設置されていて、困った時には相談に乗ってくれました。
学習内容・勉強について	国際政治学を専攻していました。明治大学とは違って、学生同士にグループを作ってディスカッションする議論式授業が多かったです。授業は主に中国語で行われて、中国語ができなかった最初は結構難しかったです。授業中、常に指導教員も同席し、理解できないことや言葉の問題など、授業中発生する問題についてアドバイスをくれました。
課題・試験について	試験がない時にも課題が多く出されました。多くの課題はレポートでした。時には図書館での資料調査だけではなく、実際自分が外に出て資料を収集するフィールドトリップ調査も行われます。試験は1学期に2回に行われます。試験は授業によって、中国語か英語を選択して受けることができます。
大学外の活動について	言語交換サークルに所属し、活動しました。主に日本語や韓国語を現地の学生に教えてあげました。その代わりに台湾の学生から中国語作文の指導を受けたり、学校で頻繁に使われている中国語を教えてくださいました。
留学を志す人へ	国立台湾大学での留学は、私の人生にとってとても貴重な経験でした。留学をすると就職活動に少し支障があるとも聞きましたが、留学から得た経験は就職活動や大学院進学にメリットになると思います。また、海外で様々な国から来た学生と勉強しながら、国際感覚も育てられると思います。留学を志す皆さんも海外での勉強を恐れず、自分の未来のために海外留学を目指して頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	中国語勉強	中国語勉強	中国語勉強	中国語勉強	中国語勉強		
	レポート作成	レポート作成	国際関係史-1	国際公法			
午後	広告学	言語交換ボランティア	英会話-1	国際公法	アメリカ政治学	言語交換ボランティア	言語交換ボランティア
	広告学	言語交換ボランティア	英会話-2		アメリカ政治学	言語交換ボランティア	言語交換ボランティア
夕刻				言語交換ボランティア			授業の復習
夜	課題準備、就寝	課題準備、就寝	課題準備、就寝	課題準備、就寝	課題準備、就寝		授業の復習